

2023年度 U-11事業報告

1. 事業名 2023年度 空知トレセンU-11 本州遠征
2. 期日 令和6年1月5日(金)～8日(月)
3. 場所 千葉県柏市
4. 目的
 - ・ 本州の強豪チームとの強度の高い試合をすることでレベルアップを図る
 - ・ フットサルを行っている時期に外のサッカーを意識させる
 - ・ 厳しい生活環境(団体生活)に身を置くことで、精神的な成長(自立)を図る
 - ・ 仲間とのコミュニケーションを深め、サッカーの新しい友達を作る
5. 内容
 - ・ 第14回柏レイソルアライアンスアカデミー業務提携クラブ『柏市招待サッカーフェスティバルU-11』に参加

6. 参加選手・スタッフ

①参加スタッフ

責任者 藤谷 一史
コーチ 神田 法人
コーチ 片岡 啓充

②参加選手

<FP>

佐々木 琉巳(三笠FC)	三條 幹斗(くりやまFC)	稲村 聡太(くりやまFC)	小野寺 奏人(日の出)
岡村 剣吾(三笠FC)	立野 紘夢(くりやまFC)	五十嵐 咲綾(くりやまFC)	岡村 駿希(日の出)
老田 怜歩(東FC)	淋代 晏史(くりやまFC)	富樫 真紘(日の出)	中村 龍成(日の出)
三上 さくら(マオイFC)	澤田 快星(くりやまFC)	河江 璃皇(日の出)	鹿糠 朋哉(岩見沢jr)
福井 理人(くりやまFC)	石川 陽生(くりやまFC)	野村 颯汰(日の出)	小田 篤輝(岩見沢jr)
			井口 颯人(志文栗沢)

<GK>

山口 響永(日の出)	市川 奏弥(日の出)	宮坂 航太朗(くりやまFC)
------------	------------	----------------

7. 成果と課題

①成果

- ・ ピッチ内外で、「自立」と「成長」のきっかけをつかむことができた。
- ・ 冬場、北海道では味わえない外の広いピッチで、強度と質の高い相手と4日間戦い続けることで、選手一人ひとりの「意識」と自ら求める「基準」が上がった。
- ・ A・B分けでトレセン内での競争が高まり、今まで以上に切磋琢磨するようになった。

②課題

- ・ 本州との「日常」の差(1年中できる。強豪地区・強豪チームと身近に戦える)
- ・ 本州との、高強度の中での「技術」の差(前を向く技術、縦パスの技術、失わない技術)
- ・ 本州との、サッカー理解(原理原則)と、それを伴う判断力(適切さ)の差
- ・ 本州との、次々と休みなくタフに戦い続けるサッカー持久力(体力・脳力)の差
- ・ 参加スタッフの選定(帯同できるスタッフが少ない。毎回同じスタッフが帯同するよりも、いろんなスタッフが帯同した方が経験になる。)